

せん妄の診断・治療

せん妄の診断・治療に関するご相談は

西市民病院
リエゾンチーム

2013.1改訂

せん妄とは？(せん妄の概念)

- 1) 一過性に出現し、可逆性の軽度の意識障害あるいは意識変容。急激な発症(数時間から数日間)
- 2) 精神機能の障害(多彩な精神症状)を伴う：
見当識障害、注意集中困難、認知機能の低下、計算力、
記銘力障害、精神運動興奮、錯乱、幻覚妄想(視覚性のもの)、
不眠(昼夜覚醒リズムの障害)、活動性低下。
- 3) 症状は浮動性(一日の中でいい時と悪いときがある)：
症状の可逆性、変動が見られる。不可逆性の症状を示す
認知症とは異なる。
- 4) 周囲からの刺激の少ない夕方から夜間にかけて、出現する
場合が多い。=>夜間せん妄
- 5) 発症率:一般の入院患者:10-15%
ハイリスク患者(高齢者、術後、熱傷、電解質異常等):40-67%
- 6) 他のせん妄のタイプ:アルコール離脱せん妄、術後せん妄、
ICU、CCUせん妄。
- 7) 軽い意識障害、変容を見逃さないようにする。意識を深さ
だけでなく広がり of 2次元でとらえる。

せん妄の臨床像

●過活動型(hyperactive type) 興奮、幻覚、幻触、妄想、不眠 etc	興奮、過活動が主体。夜間徘徊。 転倒、点滴抜去等あり、時に抑制 が必要。
●活動低下型(hypoactive type) 無表情、無気力、傾眠 etc	低活動ではあるが、意識障害、 内的不穏は持続している。 うつ病や不眠症と誤診しやすい。
●混合型 過活動型と活動低下型の特徴 が混在	上記二つの特徴が混在するため、 せん妄→興奮と考えている治療 者は混乱しやすい。

せん妄の発症危険因子

- 1) 臨床的に多要因で起こり、原因特定が困難。
- 2) Lipowskiのせん妄発症因子の分類（下図）。
- 3) 危険因子として、高齢者（最も重要）、男性、術後、脳血管障害、認知機能障害、身体的基礎疾患、薬物治療（中枢神経系）、等の存在がある。



「臨床医のためのせん妄の診断・予防・治療」より

せん妄の診断

- ・ 直接因子の鑑別：
 - 1) 精神医学的問診：見当識、記憶力、計算能力、空間認知、抽象思考能力、その他のチェック。
 - 2) 飲酒歴、服薬内容、基礎疾患の状態の検討。
 - 3) 脳の画像検査、脳波検査の施行。血液生化学検査。
- ・ 症状についてのチェック：

症状の動揺性、浮動性、急激な発症および変動性のチェック。
24時間の行動でチェック。
- ・ 危険因子についての評価：

高齢者については要注意。
- ・ 鑑別診断：
 - 1) 認知症：可逆性の有無で判断。
 - 2) うつ病：低活動性せん妄の時に注意。
 - 3) 不眠症：昼夜の覚醒リズム障害を不眠のみととらえがち。
 - 4) 薬剤惹起性の精神医学的問題（ステロイド、化学療法剤、インターフェロン等）
 - 5) 拘禁反応（ICU、CCU、無菌室）などの心因性の反応。

せん妄の治療

・誘発因子の改善:

- 1) 家族、医療関係者からの話し掛け、昼夜の区別を付けるなどの刺激を与える。
- 2) 誘発因子の除去。

・薬物療法(下記の薬剤量は症状によって適宜増減):

- 1) 内服できない場合:
セレネース(5mg) 1/2A~2A+生食(100ml) 1B div
眠前に30分程度で
- 2) 内服可能で興奮を伴う場合:
 - ① リスパダール 0.5~2mg/夕食後or眠前 (液剤でも可)
 - ② ルーラン 4~8mg/夕食後or眠前
 - ③ セロクエル 25~100mg/夕食後or眠前
 - ④ ジプレキサ 2.5~5mg/夕食後or眠前 ← 糖尿病患者は禁忌!!
*興奮がおさまり不眠だけが残る場合はマイスリー5mgなどを併用
- 3) 内服可能で興奮を伴わない場合:
 - ① レスリン 25~100mg/夕食後or眠前
 - ② テトラミド 10~30mg/夕食後or眠前1) ~ 3)で効果が乏しい場合 デバケンR 100 ~ 200mg/夕食後 or 朝夕食後
⇒上記で症状改善がみられない場合はコンサルト。

◎注意点:

循環器(心伝導系、不整脈)、呼吸器系の評価と管理に注意。
悪性症候群(CKの測定)、錐体外路症状に注意。
*アキネトンの事前投与および静注は、せん妄悪化のおそれがあるため注意。

- ◎BZ系の睡眠薬や抗不安薬は、せん妄の増悪や脱抑制をきたすことがあるので、少量から開始(例:マイスリー5mgなど)するなど最小限度の使用にとどめる。
やむをえない場合には、抗精神病薬との併用を心がける。

- ◎転倒、点滴チューブ抜去に注意。場合によっては抑制帯使用も検討。

参考文献)「せん妄の治療指針」日本総合病院精神医学会治療指針1 (星和書店)

「せん妄の診断・予防・治療」監修:産業医科大学精神医学教室教授 中村 純

「せん妄の診断・治療」監修:九州大学大学院医学研究院 精神病態医学分野

講師 川崎 弘詔

今日の治療指針2012年版(医学書院)